

**栄光園だより**  
第105号  
2016年10月31日発行  
発行  
社会福祉法人 栄光園  
別府市南荘園町3組  
〒874-0904 電話 (23) 2827  
振込口座 01930-2-20748  
編集 広報誌編集委員会  
印刷 大野印刷株式会社  
別府市青山1-7 電話 (21) 0505

# どのようなにして

## 子は育つのか——私見

理事 池田 康 雄

永年高校の教師をし、部活動の指導をしていたこともあり、自分の二人の子育ては妻任せであった。しかし、その後学習塾で子どもを預かり、二十年近く栄光園に出入りし、また、二人の孫の育っていくのを見る中で、子どもはどのようにして育っていくのかの幾つかの断面が見えてきたように思う。

育つことにも大前提がある。種子も発芽するには適切な光や温度や水が欠かせないように、「子ども」には、まず降り注ぐ愛情が必要である。

これは、生きる条件で、育つための基盤であり、これだけで健全に育つとは思えない。逆説的に言えば、愛情だけで子どもは育たない。このことは親の後先考えない一途な愛によって子どもが悲劇に見舞われる話が数多くあり既に実証されている。

そこで、生命を得た子どもが健全に育つための幾つかの必須要素を導くことができれば、その要件を満たすことにより



すべての子どもが健全に育つことができようである。

従って、私は勇を奮ってその幾つかを提示し、皆さんが「健全な子ども」を育てることを考える素材を提供してみたい。次に挙げる要件を培っていく順序は不同です。項目と理由を述べてみます。

### ①「我慢」する心を覚えさせること。

人間の欲望に限りはなく、満たされれば次の段階に進むだけのことである。自分の欲がいつも叶えられるとは限らないことを認識させ、すぐにいじけない習性を会得させること。

### ②体験を数多く積み積ませ、経験を広げ、広げさせること。

人間の求められる力として、「想像力」と「創造力」とがある。けれど、貧弱な体験と経験ではこの力は育まれない。日々の小さな体験のチャンスを見逃し続け、折角の経験の機会を逃しながら生きてしまう。このことをもつたいたいと「子ども」と「その周囲の人」が

どれだけ胸に刻むことができるか。それが問題である。

③「言いたいこと」を整然と述べる力を身につけさせること。

人間は集団の中で生きる以外にない。当然、自分とは異なる感性や意見を持っている人の方が多いことを理解しなければならぬ。だからといって、いつも他人の言う通りに生きなければならぬ訳ではない。健全な自己主張はあっていいはずだ。しかし、その力は自然と身につくものではないだろう。つまり、養い、育てていかねばならない性質のものである。

このことを、「子ども」と「その周囲の人」がどれだけ意識し、実践できるかが、それが問題である。

### ④「してはいけないこと」を厳しく指摘できる人が側にいること。

「躰け」とは「してはいけないこと」を認識させ、その中には「しない方がよい」ことも含まれているように思える。その意味で、「躰け」は難しいと言える。私が言いたいことは、これを最小限に絞りこみ、「それだけは言ってもしてもいけない」と指摘、指導できる人が絶対に必要だと言いたいのだ。子どもはそういう日常の中から自己の規範を培うことになるのだから。

生意気にも子どもが健全に育つための四つの必須要素を掲げてみました。これに何を付け加えるべきか、また、どの項目は削るべきなのか。私は今後も考え続けてみたいと思いますが、ぜひ、皆さんも考えてみてください。そして、いつかこの問題で討論する機会があればと期待しています。

「栄光園」が更に充実するために…

## 児童養護施設

### キャサリンホーム

#### 夏休みの思い出

キャサリンホームは、8月19日〜20日にウエストホームと合同で、佐伯市瀬海水浴場でキャンプをしました。

ウエストホームのお兄ちゃんたちと一緒に勇気を出して深いところまで泳ぎに行く子や泳げずに波打ち際で泳ぐ子もいました。バーベキューをしたり、花火をしたりとたくさん遊びました。

普段なかなか遊べない優しいお兄ちゃんたちと遊んだことが一番の思い出です。



### ウエストホーム

#### 夏休みの思い出



ウエストホームは、8月19日〜20日に、キャサリンホームと合同で、佐伯市の瀬会海水浴場でキャンプをしました。周りには一面に綺麗な海が広がっており、シュノーケリングで魚を探したりと2日間海水浴を満喫しました。帰って来てしばらくの間は、日焼けの痛みに悩まされましたが、それもいい思い出となりました。



### ムラカミホーム

#### 夏の思い出



ムラカミホームは、深緑の耶馬溪”バルンバルンの森”でキャンプをしました。バーベキューやピザ焼き体験、大きな木を利用して建てられているツリーハウスで遊ぶなどここでしかできない体験をいっぱいさせてもらいました。



### マツモトホーム

#### 夏休みの思い出



マツモトホームは、8月下旬に久住高原沢水キャンプ場に行ってきました。沢に足を入れると凍えるほどの山水でしたが、楽しい時間になりました。山の気気は変わりやすく小雨が降ることもありましたが、バーベキューも行うことが出来、みんな大満足でした。



### オゴウホーム

#### 8月に田の浦ビーチに行きました!!



暑い日に冷たい海に入りみんな気持ちよさそうにのびのびと遊びました！海水を怖がったり、深いところまで行く探究心があったりと、普段見られない姿をたくさん見ることが出来ました。また一つ夏の思い出が出来て大人も子ども楽しいひと時が過ごせました。涼しくなってもオゴウホームで楽しい思い出を作っていきたいと思っています。



### ノマテホーム 天気に運がない

地域小規模が始まって初めての夏季休暇で、当ホームでは日出ソーラージュの「スプラッシュ・ガオ」で遊び、別日には、糸ヶ浜海浜公園でバーベキューをしました。どちらも雨に見舞われたり、曇天だったりがありました。楽しく過ごすことができました。



## 乳児院

### あおむしめくつけた!

夏に保育実習にきた学生が「はらぺこあおむし」の人形を作って壁に貼ってくれました。

子どもたちは、さっそく見つけて職員に「あっ、あっ」と指をさして教えてくれました。

綺麗な色彩のあおむしやちようちよや食べ物がとても魅力的なようです。中にはおいしそうな食べ物が欲しくて、一生懸命背伸びをして手を伸ばしている子がいて、なんともかわいらしかったです。

他のクラスにもかわいい壁飾りも増えて、お部屋がにぎやかになりました。学生のすてきなお土産に子どもも職員も嬉しい気持ちになりました。



### お魚がいくつぱい

うさぎ組の子どもたちがうみたまごに行ってきました。水族館の中では、たくさんの魚にびっくりした様子でしたが、そのうち魚を捕まえるように手を伸ばして、泳いでいる様子を見ていました。

大きなセイウチにも触ったり、遊具で遊んだり、楽しい時間を過ごすことができました。



## 「あなたがわたしと共にいてくださる。」

詩編23編4節

### 聖書の言葉



青山保育所 小久保 次郎

詩編23編は、大変に美しい詩です。「主は羊飼いで、わたしには何も欠けることがない。主はわたしを青草の原に休ませ憩いの水のほとりに伴い、魂を生き返らせてくださる。」聖書の舞台は、乾燥の地です。砂漠の広がる土地です。植物の生育も厳しい状況であったことでしょう。とりわけ、飲料水の確保は、最優先の課題でした。創世記の記事では、神の霊が水の面を動いていたとあります。神と水の深い関係が書かれています。イエス・キリストもご自身のことを活ける水であると宣言されています。すぐ乾くような水ではなく、魂に染み入る神の救いの水です。そして、魂を生き返らせる命の水です。水に恵まれた日本という土地に生まれ育った私たちには、聖書が何故かくまでも、水の素晴らしさを説くのか、日々の生活の中でよほど水に欠乏しない状況に追いやられない限り正直理解できないです。水とキリスト教は実に関係が深いです。キリスト教教会では聖礼典として、洗礼が大事に守られてきました。預言者ヨハネが洗礼を行い、多くの人々を信仰へと招きました。そして、キリストは自らを神の霊の水として、体験的に信仰へと招き入れました。ただ言葉だけではなく、水という実体とおして神が私たちに臨まれるのです。科学的には、水は実に不安定な物質です。酸素と水素が不安定な化合状態をなしています。また電気分解によって、容易に元々の元素である水素、酸素に分解してまいります。この広大な宇宙に星は沢山ありますが、水をもつ星は実に限られているとされています。表面が水に覆われた地球はまさに奇跡の星であり、神が意思をもって特別な思いをもって創造された星であるのです。水によって生命が誕生し、生物の多様性が爆発的に広がりました。動物、植物、ウイルスとそれぞれが多様な進化をとげました。この生物のもつ根源的な力は、創造主である神です。ただし、この生物のもつ命に対して、神は一つの条件をお与えになりました。それは死です。一つの個体は誕生しますが、その命は有限です。繁殖、増殖という命のリレーによって命は過去から未来へと繋がります。詩編の記者は「死の影の谷を行くときも、わたしは災いを恐れない。…命のある限り恵みと慈しみはいつもわたしを追う。」と神への究極的信頼を宣言します。詩編23編は信仰告白であります。この美しい神への信仰告白が私たちに与えられていることは、まさに恵みです。この言葉を聞くことができる人はまさに、神の奇跡にあずかった私たちも含めて実に幸いなる人々と申せましょう。神がわたしたちと共にいてくださるように、わたしたちも他者と共にいる存在です。

### 花火大会

今年も乳児院恒例の花火大会をしました。まだ花火を持つことが難しいので、今回は打ち上げ花火にしました。準備が整い、テラスに座った子どもたちは「何が始まるんだろう？」という顔をしていましたが、花火が始まると目を丸くしてじっと見入っていました。思わず立ち上がって綺麗な花火を取りに行こうとする子もいました。

ほんの数分の花火大会でしたが、子どもたちの記憶に残ってくれると良いなと思います。

### 野菜の収穫…その後

前回、園だよりに子どもたちが夏野菜を植えて収穫をするのを楽しみにしていますと載せましたが、その後トマト、おくら、トウモロコシは順調に育ち、無事に収穫できる時期になりました。心配していたトウモロコシも大きくなり、「さあ、収穫しよう」としていたある朝のこと。いつも見ていた風景と様子が違う…と良く見ると一番育っていたトウモロコシが無くなっていて、その向こうに芯が転がっていました。どうもカラスが足先に食べてしまったようで、おいしい頃を知ってたんだなると、楽しみにしていただけにショックは隠しきれませんでした(特に職員が)。

他のトマトやおクラは無事に収穫でき、子どもたちはおいしく食べました。



### 青山保育所

#### とうもろこし

1歳児は初めての皮むきに挑戦しました。はじめはとうもろこしを見て固まっていた子どもたち。むきはじめると楽しいようで夢中でむいていましたよ。皮をむいて出てきたとうもろこしのひげを頭へのせようとしていたり、とうもろこしを渡したくないといわんばかりに大事に抱えこむ姿などもありました。皮をむいたとうもろこしは、その日の3時のおやつで食べ、おかわりをしたにもかかわらずまだまだ食べたそうにしていました。食材に少しずつ興味を持ち始める年齢なので、季節ならではの食材に触れる機会を重ねていきたいと思えます。



#### 水遊び、気持ちいいなあ♪

ぱんだ組は、ビニールプールや小型プールだけではなく、大型プールに滑り台、「色水・氷・片栗粉・泡」などの遊びも楽しみました。色を混ぜると違う色になること、氷の冷たさ、片栗粉の粉の状態と水を混ぜた状態の感触の違い、モコモコ泡だらけになった感触…全てに興味津々で大興奮!!「それ、なに?」「どうするん?」「目をお輝かせ、「わあ、すごい!」「やってみよう!!」と自らチャレンジする姿が多く見られましたよ。いろいろな物に直接触ったり、変化を目の当たりにして楽しんでいたり子どもたち。泡だらけ・粉だらけになっても楽しそ

うでした。これからもいろんな感触遊びを通して子どもたちの興味・関心を引き出していききたいと思います。



#### おいしかったよ ありがとう!

きりん組で育てていたミニトマトをみんなよく見てみると「げんきがない!」「枯れてる!」と子どもたちも夏の元気だったところと見比べてみて、変化に気づいたようでした。そのまま洗って食べたり、サラダに入れて食べたりとミニトマトをたくさん食べられたことやもう元気がなくなってきたことを話しながらミニトマトの終わりをみんなに知らせました。「なんで?」と不思議そうなお子もいましたが、たくさんミニトマトを作ってくれたことに喜んでありがとうをいおうと話すと、しっかりと「ありがとう!」と手を合わせて言う姿がありました。自分たちでお世話をして育てたものにありがた

うの気持ちを持つというところから、少しずつ食べ物や生き物に感謝する気持ちを持てるようになってもらいたいと思います。



#### いろいろ『ソウゾウセイ』 自由遊びの中で

最近、自由遊びの中でブロックを出すと、子どもたちなりに考えながら組み立て、気がつくとも面白い作品がたくさん出てきます。1人でもくもくと作っている子どももいれば、友だちと一緒に何やら会話をしながら作ったりする様子もあり、その姿は様々です。まだまだ目的やイメージをもって作ることは難しい年齢ではありますが、小さな頭を働かせ、迷いながら配置したりする姿を見ていると、それなりにこだわりは持っている様子が伺えます。何を作っているの?と聞くと黙ってしまう子どももいるので、個々の様子に応じてそっと見守っていくようにしています。今後どんな作品が見ら



れるかとても楽しみです。  
 ぞう組2年生はカレー作りに挑戦しました。毎回クッキングを楽しみにしている子どもたち。今回も張り切って取り組んでいました。野菜を洗い、皮をむいたり、包丁で切ったり、カレー粉を入れてお鍋の中を混ぜたりと工程ごとに役割を持ち、みんなで協力してカレー作りに取り組んでいました。順番を待っている間にもお友だちのカレー作りの様子を見守ったり、手順を教えあったりする姿を見ると、さすがぞう組2年生のお友だちだなと感じました。できあがったカレーはみんなで楽しく食べ、お代わりもして大満足でした。



### クッキング2連発

ぞう組1年生はフルーツゼリー作りをしました。ゼリーの素がお湯に溶けて透明になる様子、ゼリーができあがって固まった様子に興味津々のお友だち。自分

だけのオリジナルゼリーをつくるのどのフルーツをカップに入れようか周りの友だちと話したり、交代でゼリー液をカップにそそいだりして夢中で取り組んでいました。ゼリーづくりの楽しい雰囲気思わずあまり好きではないフルーツも入れてしまうお友だちもいたようです。フルーツたっぷりのゼリーを嬉しそうに頬張るお友だちの姿が印象的でした。



### 野口保育所

#### 夏祭り

8月6日(土)に「夏祭り」が行われました。今年には「ミュージックスタート!」をテーマにお神輿を作ったり、催し物も5歳児と職員で力を合わせて楽器の演奏をしたり、オペレッタにも挑戦しました。ゲームや景品も毎年手作りです。園児や保護者や地域の方にも喜ばれました。最後は「きの子音頭」に合わせて踊り、

今年も沢山の思い出ができた夏祭りとなりました。

### お月見会

9月13日に少し早いお月見会をしました。お月見会の由来を見たり聞いたり、お供えもののお芋やぶどうなど秋の味覚を触ったり眺めたり：大きなお月様の雰囲気も出ていて素敵なお月見会になりました。

午後より5歳児が白玉入りフルーツポンチを作り、おやつの時間に配膳してみんなで一緒に食べました。  
 お兄ちゃん・お姉ちゃんが一緒に食べてくれるので、小さいクラスの子どもたちもとても嬉しそうでした。



### おじいちゃん・おばあちゃん遊ぼう会(え)

9月17日には、敬老の日を兼ねて子どもたちのおじいちゃんおばあちゃんを保育園にご招待しました。  
 お楽しみ会では、おじいちゃんやおば



あちゃんに歌のプレゼントをしたり、一緒に給食を食べました。

おじいちゃんおばあちゃんから「あまり遊びに来てもらえないから、嬉しい!」や「たまにしか会わないので、成長ぶりにビックリしたわ」など、たくさん声が聞かれました。このような機会を増やしていきたいなと感じました。

### 運動会

9月24日に運動会を行いました。今年は台風が多く、戸外での練習があまり出来なかったのですが、子どもたちはニコニコ元気に最後まで張り切っていました。たくさん拍手に嬉しそうな表情を見せる子どもたちに、またひとつ経験をつんで成長しているな：と実感させられました。

小さいクラスの子どもたちも沢山のうちの方の前で涙することもありますが、保育士と一緒に体操したり走ったりして、観ている方々から優しい笑顔でたくさん拍手をいただきました。子どもたちの最後まで頑張る姿や保護者の競技への参加や応援に感謝し、盛大に運動会が終えることができました。



# 渡邊貞夫とこどもたち

## ～シェア・ザ・ワールド in Beppu 2016～

保育士 大野 薫

今年の8月7日(日)別府ビーコンプラザで、世界的なサックス演奏者”ナベサダ”のコンサート「渡邊貞夫と子どもたち」シェア・ザ・ワールド in Beppu 2016」が行われました。

実は一昨年8月にも行われ子どもたちがバックコーラスに挑戦しました。再び渡邊貞夫さんと同じステージに立つことが決まり、震災復興応援ソングとして「花は咲く」もブラスされ5月より練習が始まりました。

小学生から高校生までの男女16名と年齢の幅が広いなか小学校低学年の子どもたちは練習についていけるのか、集中力に続くかという心配もありました。しかし、中高生を中心に低学年に踊りや歌を教え、それに応えるかのように練習時間以外でも歌や踊りを覚えようとする低学年の姿があったのです。そんな子どもたちの姿は、皆で協力し、成功させよう”という思いが自然と溢れているように思えました。平和園や光の園との合同練習が良い刺激となり、7月9日ご多忙な中おいでいただいた渡邊貞夫さんとの練習では笑顔で明るい雰囲気と素晴らしいサックスの音色に吸い込まれるように歌う子どもたち。渡邊貞夫さんが子どもに向けたグーサインが1ヶ月後に本番を控えた私たちにとっては大きな安心感へと繋がりました。そして迎えた当日。練習では



渡邊貞夫とこどもたち シェアザワールド in Beppu 2016 こどもつなぐ 山口産業株式会社

想像もつかないほど全身で”音楽”を楽しむ子どもたちの姿があり、会場全体で達成感や感動を味わうことができ、皆が一つになったこの時間はかけがえないものとなりました。このような機会を2度も与えてくださり、関わってくださった多くの方々に感謝いたします。

### 職場体験

(野口保育所つづき)

9月に、2つの中学校から3日ずつ職場体験にきました。

自分で入りたいクラスを選び、緊張しながらも子どもたちと楽しそうに関わっていました。「保育士の仕事は思っていた以上に大変だった」「子どもたちが笑ってくれて嬉しかった」など様々な感想を教えてくださいました。

職場体験や実習生を迎え入れる度に、私たちも初心に戻り保育士のあるべき姿や仕事内容を見直し、誇りを持って「保育士になりたいな」と思ってもらえるように頑張りたいと思いました。



社会福祉法人 栄光園  
2016年度 7～9月  
職員の動静

#### 採用

- 7月1日付 ● 青山保育所
- 廣岩 茅乃 (保育士)
- 8月16日付 ● 乳児院
- 樽見 孝夫 (調理員等)

# ドイツの児童養護施設との交流について

保育士 有永 奈津美

今年の3月、様々な方のご尽力をいただきドイツの社会福祉施設への訪問研修に行ってきました。約10日間の滞在の間に、児童養護施設はもろろんのこと、青少年センターや幼稚園、情緒短期治療施設（地域小規模型）なども訪問させていただきました。とが出来ました。福祉先進国といわれるヨーロッパとあり、日本との福祉制度とはまた違う学びを得ることができ、とても有意義な時間を過ごすことが出来ました。

また、8月にはドイツ訪問の際に見学させていただいた先の、ドイツ、デュレン市にあるセント・ヨゼフ児童養護施設の施設長 レイモント・

シュライネマツハ施設長が当施設に遊びに来て下さいました。来園当日には子どもたちによる歓迎会をホールにて行ない、「花は咲く」の合唱にてお出迎えしました。子どもたちの歓迎にシュライネマツハ施設長には大変喜んでいただくことが出来ました。これから、お互いの施設間でのように交流していけるかはわかりませんが、様々な国の人との触れ合いの機会を通して、「国際化」ということだけではなく、「視野を広く持つこと」「何より、自分の可能性は無限大であるということ」を子どもたちにも伝えていけるような支援をおこなっていきたくと思います。



ドイツからのお客様といっしょに

## 心理業務の「前提」となるもの

保育士 井生 浩之

6年前のことなので、覚えておられる方も少ないかもしれませんが、本誌にて栄光園の心理職について、紹介したことがあります。配置数1、主な業務内容は心理療法や相談業務。これは、当時とさほど変わりはありません。今回は、これら心理業務の「前提」について述べたいと思います。

とある場面を想像してください。そこは戦場で、兵士は傷つき衛生兵による手当が行われています。手当が終わると兵士は立ち上がり、戦闘に加担する。そして、また傷つき、手当がなされるを繰り返す。さて、ここで問題となるものは何でしょうか？ その1つに「手当（ケア）」をしてもまた傷ついてしまう状況があるでしょう。この例では、戦場は「安全が保障されない状況」を意味し、近年、児童養護施設においても「生活における安全・安心」のテーマが活発に議論されるようになってきています。栄光園ではこれに「快適」を加えて、「子どもたちの安全・安心・快適」を考える取り組みを組織的に行っています（前進会・ぜんしんかい。あん「ぜん」、あん「しん」、「かい」てきが由来）。私の担当する狭義の心理業務には該当しない活動ですが、いくら素晴らしい養育や心理療法をしたとしても、生活が安全で安心でないとその効果が期待できないことを考慮すると、軽視することができない優先順位の高い活動だと考えられます。まだまだ模索段階のこの活動が、少しでも子どもたちの「安全・安心・快適」に繋がることを願う毎日です。

# 栄光園のご支援者

ご支援ありがとうございます。

栄光園は多くの皆様の継続した温かい思いによって支えられてきたことを心から感謝いたしております。皆様のこのような思いは、子どもたちの成長に、また、働く私たち職員の方にも大変大きな力となっていることをいつも嬉しく思います。皆様の豊かな祝福がありますようお祈りいたしております。

【2016年7月1日(土)～2016年9月30日(木)】

## 賛助金

- |               |     |
|---------------|-----|
| 阿部 董様         | 速見郡 |
| 井口 順子様        | 別府市 |
| 伊勢 方信様        | 別府市 |
| 宇戸美和子様        | 大分市 |
| 江川 朱美様        | 大分市 |
| 梶原 康弘様        | 大分市 |
| 加藤 敏夫・千佳様     | 竹田市 |
| 木村 洋子様        | 大分市 |
| (有)コワ精起様      | 東京都 |
| (有)坂本長平商店様    | 別府市 |
| 佐々木雅明様        | 大分市 |
| 高安 淳二様        | 別府市 |
| 立花 且子様        | 大分市 |
| (有)友永パン 友永 享様 | 別府市 |
| 友永 達男様        | 別府市 |
| 長谷川士郎様        | 別府市 |
| 福田美代子様        | 大分市 |
| 別府不老町教会様      | 別府市 |
| 帆足 和生様        | 別府市 |
| 帆足 隆哉様        | 別府市 |
| 堀 直様          | 玖珠郡 |
| 増田 百枝様        | 西宮市 |
| 三浦喜美子様        | 日出町 |
| 宮沢 淑子様        | 大分市 |
| 匿名 名様         | 大分市 |
| 山口産業(株)様      | 中津市 |
| 赤嶺 浩子様        | 別府市 |

## 一般寄付

由布市

岩田 哲也様  
エンジョイゴルフ 鈴木規夫様

大本 忠様  
高松・後藤様

匿名 名様  
匿名 名様

(有)友永パン 友永 享様  
濱田セツ子様

萬松寺・久恒 正典様  
水野 好典様

宮脇 登志様

## 自立進学資金

安東 秀典様  
匿名 名様

水野 好典様

## 特別物品寄付

ジュースセット 旭環境管理  
お菓子セット 阿部勝之様

バーベキュー用肉 安東秀典様  
パン 石窯パン工房モコ様

お菓子セット 江崎博登様  
カルピス

靴下 ENEOSグループエナジー(別府)様  
ランドセル (株)大分サービス・甲斐毅男様

紙おむつ・ミルク 大塚民子様  
納豆 九州納豆組合 (有)川上食品様

アイスクリューム 九州アイスクリューム協会様  
衣類 後藤米穀店様

カルピス 志手良久様  
きゅうり 杉町圭蔵・千穂子様

食品 ラーメン・衣類 須磨英子様  
お菓子・衣類 瀬山豊・瀬山美恵様

焼却炉 マクワメロン 匿名(別府)様  
とうもろこし・ぶどう 友永丈一様

洗剤・文具・衣類 (株)ユーコー  
お菓子 中村里子様

バーベキュー用お肉 西日本畜産(株)渡邊郁様

大分市

別府市

別府市

大分市

別府市

別府市

大分市

別府市

玖珠郡

中国豆・かぼちゃ他 二宮洋典様

水餃子デモと寄付 日本中国料理協会様  
玄米 端山勝彦様

缶ジュース 濱田セツ子様  
お菓子セット 萬松寺・久恒正典様

花 別府ロータリークラブ様  
和食器 松本常國様

タオル 村瀬久美子様  
コンサートTシャツ 山口産業(株)様

アイスクリューム・お菓子セット 山口 香様  
栗 山本宣雄様

衣類・カバン 渡辺敦子様  
秋刀魚 渡辺貞夫様

## 招待・奉仕

小中学習ボランティア 安東秀典・井上せつ子様  
ピアノレッスン 奥山 靖子様

児童の散髪 ヴェルスバ大分 Kヘアー様  
サッカー観戦招待 杉本 恵太様

渡辺貞夫コンサート出演 打ち上げ  
山口産業(株)様

## 賛助会員募集

年会費、一口千円、但し、何口でも、分割も可。  
ご連絡いただければ職員が参上します。栄光園賛助会事務所は、別府市南荘園町3組です。

賛助会員の皆様には、栄光園の広報誌『栄光園だより』を送付させていただきます。



## 苦情等相談窓口

\*法人および各施設での苦情等は下記の連絡先へご相談ください。  
tel.0977-23-2827  
fax.0977-23-7520  
mail eikoen@live.jp

## 卒園者・支援者・児童・職員がグラウンドで「グレースホームの集い」

7月30日に第2回「グレースホームの集い」を開催しました。天候にも恵まれ支援していただいているAPUの学生2名と卒園生7名を招き、児童と職員一同楽しい時間を過ごしました。

またこの日に合わせて支援者の方より牛肉と豚肉のご寄付を頂いたり、卒園生よりジュースや牛肉の差し入れがあったりと心温まる気遣いに感謝の気持ちでいっぱいです。

率先して準備を手伝ってくれた頼もしい中高生の姿。おしゃべりしながら食事を楽しむ小学生の姿など全体行事だからこそその発見も多くなりました。

この取り組みが卒園生にとって実家(ふるさと)としての役割が果たせるよう、また施設が一つとなれる機会として今後も継続できればと考えています。



## 編集後記

この夏は、別府の3施設が協力して渡辺貞夫のコンサート「シェア・ザ・ワールド in Beppu」のバックコーラスに2年ぶりに出演し成功をおさめました。子どもたちの心に入大きな思い出となったことでしょうか。

人口120万人の大分県に児童養護施設は9施設その内3施設が人口12万人の別府市にあります。そのすべてがキリスト教の理念で創立され運営されています。そのためか、基本理念で一致できるのです。3施設が切磋琢磨して全国的にもサービス密度の高い児童福祉を展開できていることが、本年度キリスト教児童福祉連盟の全国大会を別府で開催し、成功に導くことができましたとも言えます。感謝です。(敏)